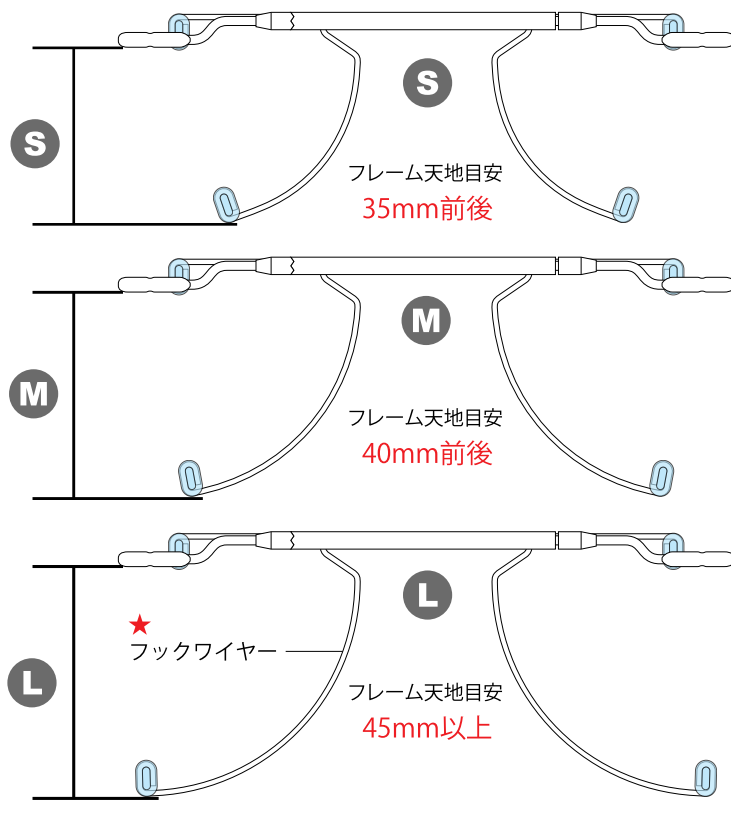
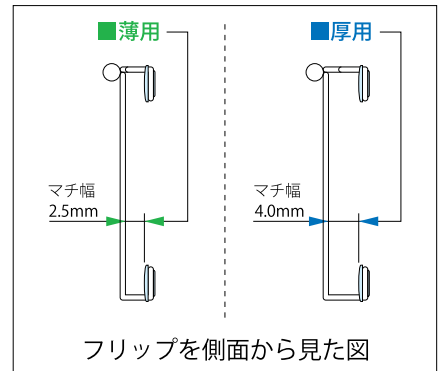


# DIY クリップオンレンズ（偏光レンズ） 作製マニュアル



メタル/樹脂フレームどちらも装着可能



サイズ	厚み	薄用	厚用
XS		●	●
S		●	●
M		●	●
L		●	●

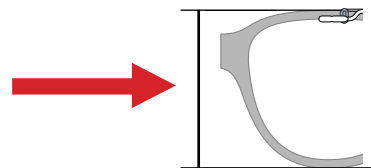
- 薄用…一般的なメタルの掛け枠や比較的リム幅が薄い枠に。
- 厚用…一般的な樹脂の掛け枠や比較的レンズの厚い枠に。

**ポイント:** フックワイヤー(★)の形状はあくまでも出荷形状です。装着用フレームリムに合うように曲げたり伸ばしてフィッティングしてください。

**注意:** 突出の大きいツープリッジやツーポイントフレームまた、一山(イチャマ)フレームには装着できない場合がありますのでご注意ください。まずご相談ください。

金具のサイズを選択する際は天地目安を参照ください。あくまでも目安ですので実際に装着くしてご確認ください。

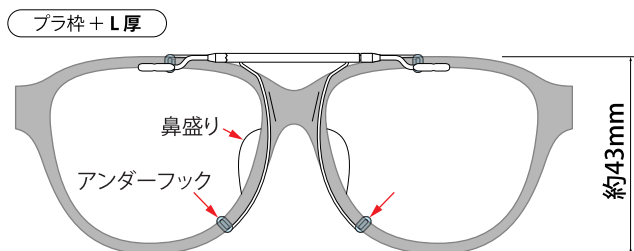
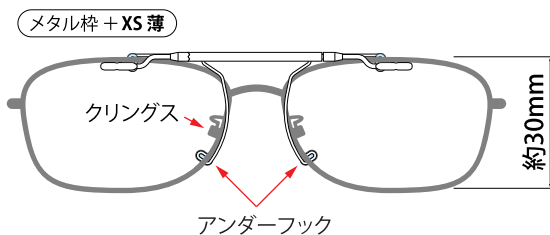
※ フレーム天地巾 = レンズが入っている部分のフレーム縦巾



※ ■ メガネ枠に合った金具のサイズを選ぶ基準

**ポイント**

**アンダーフックの適正位置**



アンダーフックの先端がイラストのように、リムのサイドにくるのがベストです。ただし、メタル枠の場合はクリングスのロー付け位置、プラ枠の場合は鼻盛り位置がコーナーにかかる程下にある場合は、やむをえずサイズをひとつ大きいのにしてください。なぜなら、金具をフレームに装着する際、クリングスや鼻盛りに引っ掛かって金具が持ち上がらないことになるからです。(最初に13ページの装着手順を確認いただくとご理解できます。)

## ■ ハサミによるレンズカット



□本体 … M-厚用  
□偏光レンズ … ライトグレー

このマニュアルで使用するメガネは樹脂フレームです。

### ① …フレームに合った本体とレンズを準備しておく。(1ページをご参照ください。)



偏光レンズ(アンカット)  
※キズ防止のため両面保護シートが貼ってあります。

このマニュアルでは樹脂フレームを使用するため、Mサイズの厚用を選択しています。ここではライトグレーを使用します。

**確認:** 薄用・厚用は実際に装着して確認してください。

**1ページの仕様をご参照ください。**



アンダーフック先端のマチに ■薄用・■厚用 があります。

**1ページの仕様をご参照ください。**

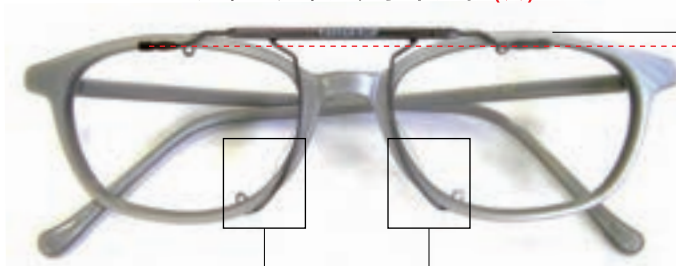
### ② …本体をフレームに装着してみる。(装着の方法は10ページをご参照ください。)



本体を装着する際は、メタルフレームも樹脂フレームも同様にフリップ各部のフィットिंगが基本的に必要です。

**9ページをご参照ください。**

フィットिंगポイント(★)



★リムとワイヤーの間に隙間が開かないようにする。

★レンズ止め部の位置を左右同じ高さにする。  
左右のバランスを確認

★矢印間の距離は2mm～3mmにする。  
(フレームによって多少変動あり)

## ■ ハサミによるレンズカット

### ③…左右のレンズを同型に仕上げるための『型紙』をつくる。



このマニュアルでは『型紙』の表と裏が分かるように色をつけています。

**イ** フレームのリム外周をトレースできるコピー用紙や薄手のメモ用紙をご準備ください。

**ポイント:** 厚手の用紙は使用しないでください。



**ロ** 用紙の中央に両面テープを貼ります。

**ポイント:** 粘着性の弱いテープは使用しないでください。

**理由:** トレース中に用紙がズれてしまうのを防ぐためです。



**ハ** フレームレンズの中央に両面テープがくるように貼ります。

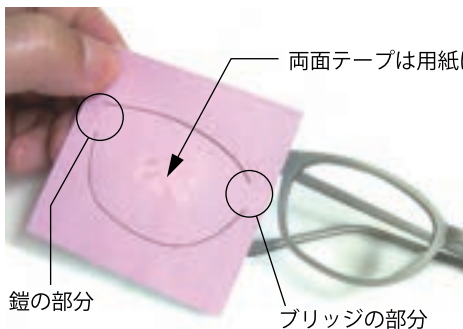


**ニ** 準備してあるアンカットレンズを下敷きとして利用し、**リムと用紙の間をない状態にして**ボールペンでトレースします。

**注意:** マジックは使用しないでください。リムにインクが付いたりラインが太くなって正確さが失われます。

**ポイント:** 鍔やブリッジの部分を除き、下敷き(レンズ面)のカーブを上手く利用してトレースしてください。

メタルフレームの場合、クリングス(パッド)部もトレースしにくい為ペン先が届く範囲で、目印となる点だけでも記入してください。後で上手くラインを繋ぐのに便利です。



**ホ** 両面テープは用紙に残るようにレンズから剥がします。

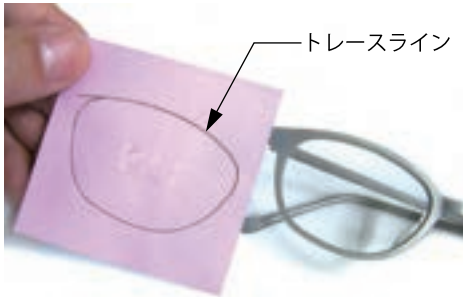
**ポイント:** この時点で両面テープが用紙に残らなくても、後で改めて貼っていただいても問題ありません。

**確認:** 鍔とブリッジの部分だけはトレースされていません。

## ■ ハサミによるレンズカット



△ 鏡とブリッジの空白の部分をリムなりに自由曲線で繋ぎます。



写真のようなトレースラインが完成します。



▽ トレースラインをカッターかハサミで切り取ります。

**ポイント:** トレースラインはリムの外周より少し大きめに引かれているので、ボールペンラインの真上をカットしても問題ありません。

**注意:** ただし、ライン内にカッターやハサミの刃が入らないようにご注意ください。

**理由:** レンズサイズが小さくなってしまうからです。



写真のようにカットしてください。

『型紙』の**完成**です。



◇ 確認のため一度フレームに合わせて貼ってみてください。

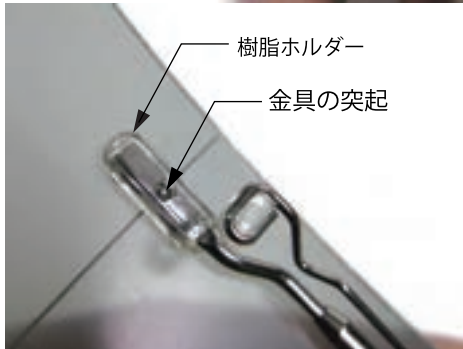
**確認:** 両面テープが付いている面をフレームに貼って確認しているため、写真では『型紙』の表裏が変わっています。

## ■ ハサミによるレンズカット

### ④…『型紙』を使ってレンズをハサミでカットする作業

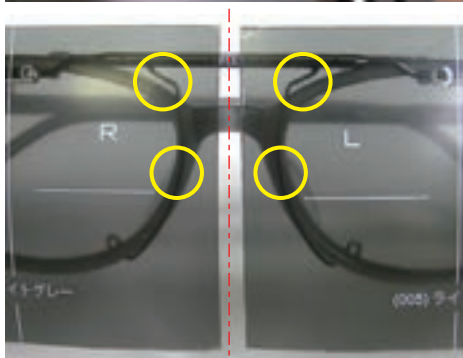


**イ** まず、本体にカット前のレンズを取り付けてください。



写真のように、レンズ裏の樹脂ホルダーの穴に金具の突起が入るまで差し込みます。

**ポイント:** 最初の抜き差し時は少し固く感じます。



**ロ** 本体がフレームの中心になるように装着してください。

**確認:** 装着後、必ずフレームに対して本体が中心にくるように位置調整をしてください。

○枠内のワイヤーとフレームの位置関係で中心を確認できます。

レンズカラーが濃くて確認できない場合はフレームの裏から確認するか、レンズを少し跳ね上げ、覗き込むようにフックとリムのバランスを確認してください。

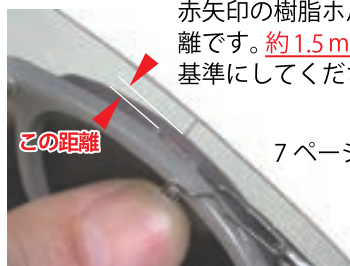


**ハ** 左右どちらを先に加工しても結構ですが、『型紙』に両面テープが残っていればその面をレンズに貼ってください。

**ポイント:** 貼る時のポイントは、フレームと本体がズレないようにフレームのリム全体が型紙に隠れるように貼ることです。レンズカラーが濃くてフレームのリムが確認できない場合は蛍光灯などの照明で透視するとよく確認できます。

**確認:** 表からの確認が終わったら念のため裏からの確認もしておくと安心です。

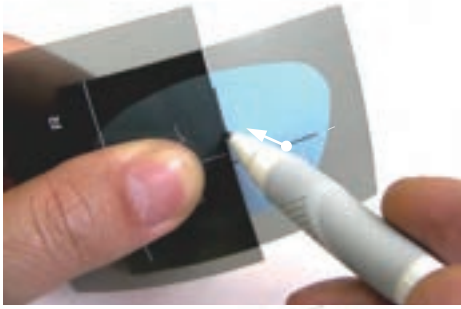
**確認:** その時必ずチェックして欲しい部分があります。赤矢印の樹脂ホルダー上面から型紙外周間の距離です。約1.5mmを目安に反対側を合わせ時の基準にしてください。 ※



7ページの **リ** でも同じ確認をします。

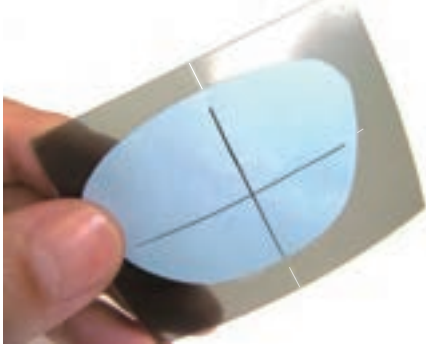
フレーム裏側の斜め上から見た写真

## ■ ハサミによるレンズカット



- ☐ 『型紙』の位置が決まったら一旦レンズを外し、**カット前の**レンズに印刷してある縦横の中心線を『型紙』の上にも引いておく。片方のアンカットレンズを定規にすると便利です。

**ポイント:** レンズの印刷線が隠れて見えにくい場合は、蛍光灯などの照明に透かして見ると確認できます。

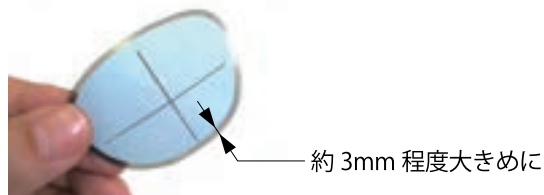


**理由:** 反対側のレンズに『型紙』を貼る際に、このラインとレンズのラインを合わせることで、左右のレンズの位置関係がバランス良く設定できます。ただし、あくまでも**目安ライン**なので最終的には**リム外周に対してチェックが必要**です。



- ☐ プラ切り専用のハサミで荒切りしてください。  
(ペットボトルをカットするハサミでもOKです)

**ポイント:** 『型紙』から約3mm程度大きめにカットしてください。



**理由:** 最初から仕上げカットをすると余白のレンズが邪魔になり切りにくいからです。



- ☒ プラ切り専用のハサミで仕上げ切りしてください。

**ポイント:** 『型紙』の外周に沿ってゆっくり丁寧にカットしてください。『型紙』にハサミの刃が掛かるか掛からないかのラインを意識すると綺麗に仕上がります。



**ポイント:** 任意でサイズを変更したい場合を除き、正面から見てレンズが『型紙』の裏に隠れて見えないのが理想的です。

## ■ ハサミによるレンズカット



**ト** レンズカットを終えたら『型紙』の両面テープを剥がす。

**理由:**『型紙』に両面テープが残っていると、反対側のレンズを加工する際邪魔になるからです。



**チ** 『型紙』の裏面(十字線を記入した面)に両面テープを貼る。



**リ** ④…ハ～トと同じ手順でカットします。

**ポイント:**

6ページの ㉓ で書き入れた十字の線を、裏側から透視して合わせてみるのも目安として便利です。

**確認:** ④…ハでチェックした赤矢印の樹脂ホルダー上面から型紙外周間の距離をほぼ同じにすること。



フレーム裏側の斜め上から見た写真



**理由:** フリップの正面から見て、この高さを左右同じにするため。



**ヌ** 左右のレンズがカットされたら本体に取り付け、フレームに装着して確認する。



## ■ ハサミによるレンズカット

⑤…ハサミでカットした面をヤスリで均(なら)します。



**ポイント:** レンズの各コーナーを滑らかな曲線で繋ぐように仕上げてください。

切削するという感覚ではなく、細かい凸凹を滑らかにするというイメージで作業してください。

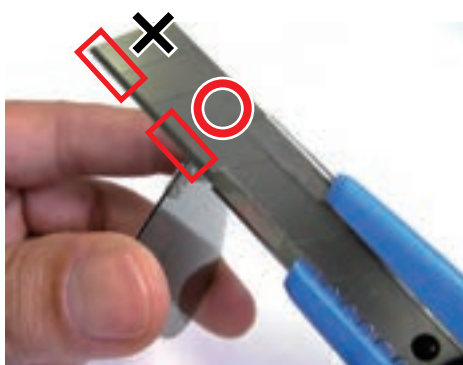


⑥…両面の保護シートを剥がします。



**ポイント:** レンズ表面の保護シートは一気に剥がしても問題ありませんが、レンズ裏面に関しては樹脂ホルダーの部分だけゆっくり剥がしてください。保護シートがレンズとホルダーの間に残ってしまうことがあります。

⑦…レンズのエッジに出たバリを落とします。



**ポイント:** レンズが薄いため削り過ぎると断面が刃になってしまい危険です。

写真の様にカッターを使用して軽く面を取る感覚でバリを取ってください。

**注意:** 刃の先端を使用せず奥側で削ってください。



バリ取り作業…前



バリ取り作業…後

⑧…本体にレンズを取り付けて完成。

差し込み式のワンプッシュ取り付け



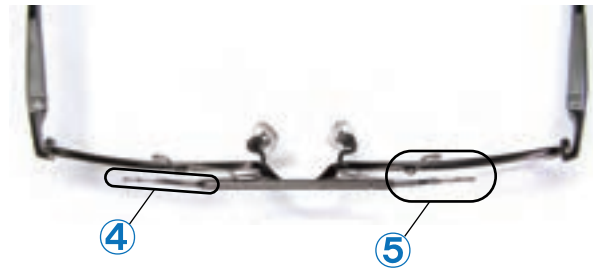
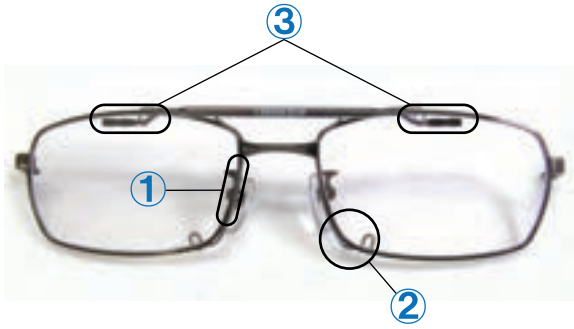
あとはフレームに装着して最終フィッティングを。

( 9 ページをご参照ください。)





## ■ 本体のフィッティング



- ①…リムとフックワイヤーのカーブが合っていない。

フックワイヤー全体のカーブを調整する。



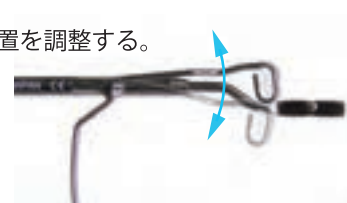
- ②…リムのコーナーとフックワイヤーのカーブが合っていない。また隙間がある場合。

隙間の部分だけワイヤーを曲げて調整する。



- ③…レンズ止めの高さが左右同じになっていない。

トップフックのアタリ位置を調整する。



- ④…回転軸芯のカーブとメガネのカーブが合わず、鏡(ヨロイ)などが干渉する。

回転軸芯の『S字カーブ』の部分で平ヤットコの面をつかんで調整する。



- ⑤…本体とメガネの隙間を調節したい。

フレームにクリップオンレンズが干渉することで完全に閉じなかったり、跳ね上げがスムーズにできないことがあるからです。



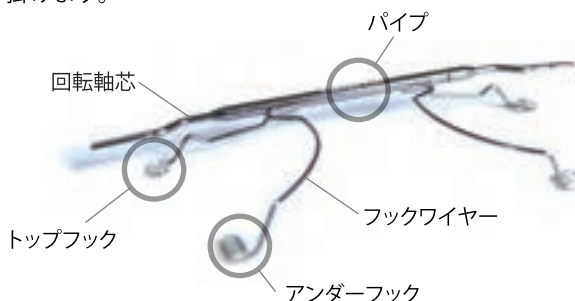
## ■ クリップオンレンズの装着手順と装着後の外観

### ■ 装着手順 (ワンモーション装着)

1…最初にアンダーフックを引っ掛ける。



写真のようにメガネフレームを固定します。  
親指はクリングスかブリッジの上に置くと安定します。  
フリップ金具のパイプの部分を持ち、フレームの表からアンダーフックをリムに引っ掛けます。



2…次に、本体を引き上げる。



片方の手でメガネフレームをしっかり固定して、**本体**だけを引き上げます。

3…最後にトップフックを引っ掛ける。



メガネフレームのリムにトップフックを引っ掛けて装着完了です。

**確認:** 装着後、実際に顔に掛けて開閉してみてください。  
メガネとの隙間や、スムーズに開閉するかなどのチェックをしてください。

### ■ 装着後の外観



装着後のフレームとフリップの隙間は、基本的に上下左右とも下の写真の程度が理想ですが、メガネフレームによっては、隙間が広がる場合があります。(例…ハイカーブ、ツープリツジ、ツープなど…)

